

活動報告

■活動日時

2025年4月12日(土) 9:30～15:30

■プログラム名

アカマツ林整備作業

■目的

アカマツの保全、生育促進によるアカマツ群落の形成

■活動場所

アカマツ林 「ソヨゴ谷 (C地区)、タムシバ谷 (D地区)、エゴノキ谷 (E地区)、コシアブラの尾根 (F地区)、遊歩道」

■参加者

参加人数 13名 (体験参加者 1名を含む)



【集合写真】

■活動概要

シダ刈り、萌芽枝刈り及びアカマツ幼木の間伐

■活動内容

活動開始にあたり、まず全員で自己紹介を行い、作業内容や安全上の注意事項について確認をしました。その後、準備運動を行い、道具を整えて現地へ向かい、作業エリアの確認を経て、3つの班に分かれて作業を開始しました。

主な作業内容は、シダ刈りと萌芽枝刈り。枯れた草が多く、木も落葉して作業がし易いこの時期に出きるだけ刈っておこうというのが狙いでした。

I班はソヨゴ谷（C地区）傾斜地のシダと急斜面の萌芽枝、II班はタムシバ谷（D地区）急斜面や作業道沿い及びエゴノキ谷（E地区）崖地の萌芽枝とシダ、III班は遊歩道沿いとコシアブラの尾根（F地区）斜面のシダと萌芽枝を刈り取りました。また3班の作業と同時にタムシバ谷のアカマツ幼木30本程の間伐も行いました。

カマやハサミ類の手道具、危険個所には高枝切り鋏も使用しました。斜面で踏ん張って足場を確保しながらの作業が多く疲れましたが、「スッキリとなった！」の感想も出るほど効果的な作業が出来たと思います。

作業はハードでしたが、桜の花びらが舞ったり、野鳥の音が聞こえたり、林床に小さな花が咲いていたりと春らしい清々しさ。カラスに大事な弁当をさらわれるというハプニングもありましたが、笑い声も響く楽しい一日でした。

作業終了後は新会員と体験参加の方々には森会活動についての説明、そのほかの人は道具整備を行ってから解散しました。



【I班活動の様子】



【II班活動の様子】



【III班活動の様子】